

# 教会おとまり会

こどもへ信仰のよろこび伝えよう



▲祝梅分  
8月10～11日

▼幌部・長沼分  
8月11～12日  
※4ページ記事掲載



▲神富分 8月23～24日  
15名参加 うち少年会員7名

# ひきよせ

## 北海道胆振東部地震

被害に遭われた皆様の一日も早い復旧と  
平穏な生活になるようお祈りいたします

天理教夕張大教会  
北海道岩見沢市9条西6丁目  
〒068-0029 ☎0126-22-1248  
FAX 0126-23-7275  
bariten@main.jp  
yubaridai146@gmail.com

### 貴方への手紙 (297)

この度の平成30年北海道胆振東部地震に際しまして被災した皆様  
に心からお見舞い申し上げます。  
まだ全国では台風による各地の災  
害で多くの人が被災している中、  
9月6日未明に大きな地震が起き  
ました。厚真町の土砂崩れ災害に  
は胸が痛みます。震源地の皆様の  
深刻さを思えば、自分らは被災し  
ているとは感じませんでした。

震源地の厚真町、安平町、むかわ町、液状化の札幌市清田区の一部は報道でご覧の通り大変ひどい  
ものです。

その大部分の被害は主に停電によるものです。それも8日に解除され、物流が戻りつつあります。つくづく普段のありがたさに気づかされました。

現在のところ教会関係では人の被害を聞いていません。南空知支部内の鹿島部内の教会の神殿が土台から横にずれる被害がありました。すぐに大教会からも数人がお手伝いに行きました。

災救援本部長は青森からフェリーで函館へ、そして車で現地入りされました。

今は個別に知人などを通じて支えているところであり、教区支部の災救援は道庁からの要請を受け、10日からボランティアセンターを立ち上げるお手伝いを始めています。

9月10日の官房長官談話を要約すると、警察、消防、自衛隊、海上保安庁の部隊が4万人、ヘリが67機。捜索活動、土砂除去、給水入浴支援などに当たっている。道内の停電は一部を除き全て復旧。再度の大規模停電を防ぐため2割の節電を！と。

これからできることには避難所への支援、帰宅するときの家屋内片付けの手伝い、心の支え、などがあると思っています。

TVでむかわ町長が言っていました。必要なものは皆様の励ましの声です、と。

北海道の要請を受けて11日から災救援20名が出動、夕張関係からも6名が参加しています。

### 今後の予定

- 9月28～30日 全教一斉にをいがけデー
- 10月28日 教会長路傍講演
- 10月28日 秋季大祭団参
- 10月28日 青年会創立百周年記念総会

### 「若い人が育つ夏」

こどもおちばがえりを始め、今年も夕張部内の多くの教会でお泊まり会など育成の活動が見られました。

9月12日記

さて、9月16日の「ひきよせ大会」は今年で30回目。災害直後ですが、チャリティーバザーで収益金を社協に寄付します。信者さんや地域の皆さんに喜んでいただきたいと張り切っています。



◆直轄一日こども会  
少年会員3名 育成会員4名 参加

※夕張大教会のホームページをどうぞご覧下さい。

★ホームページ  
bariten@main.jp  
★メールアドレス  
Yubaridai146@gmail.com

### 八月 月次祭の様

今年の8月は雨の日も多く、夏とはいえ涼しい日も多かった。前日夜には雨が強く降り、明けた15日には雨が上がりつつからりと晴れ涼しくなった。それでも祭典に集まった人たちの熱気で殿内は蒸し暑くなり、大きな扇風機を2台回して涼を求めた。

開扉献饌のち、祭文奏上。奉仕者・参拝者ともに玉のような汗を掻き掻き、勇んだおつとめをつとめた。十二下り後、講話には大教会長が立ち、「お盆の月ですから、普段合わない色々な人と出会いませぬ。男性で夕張に参拝に来る最年長、98歳の内一さんに会ってきました。先頃太平洋戦争当時の事で取材を受けた。内一さんは玉砕したアツツ島の隣、キス力島の生き残りで、他に当時の事を知る人は生きていないだろう、ということ、内一さんのところへ来た。それを聞いて、人それぞれに、生きてきた分だけ物語があることを再確認しました。皆さんにも人生の中で助かった話、不思議に思ったエピソードなど、大教会で集めています。どうぞお寄せください。古来より開祖・宗祖は、貧・病・争の解決を願って教えを説かれました。現代でも人の悩みはこの三つ、経済問題・健康問題・人間関係に絞られるみたいですね。

栗山の会長さんが本来この場でお話するはずでしたが、身上の為に入院しております。高カリウム血症という病気で、腎臓の機能が低下してカリウムを排出出来なくなるそうです。適切な処置と祈りのおかげで今は回復して、皆さんに「元氣です」と伝えてください、とのことでした。



病院に行きましたら、なんとも多くの科に分かれております。数えきれない程の科に分かれ、尚且つ聞いたこともない病氣も多いように思います。逆に言うと、それだけのものを普段意識せずにお守り頂いている、ということ。私は日頃特に健康に気を付けていません、しかし身体の中では数えきれない御守護があるのです。天理教ではこれを十に分けてお話ししています。ご存知の十全の御守護です。人間の細胞は約六十兆ありますが、その全てに御守護があり、生き死にがある。私たちの身体の中で、無意識に細胞が生まれ出し、

死に行く。そうして身体は常に新しいもので成り立っている。この働きに、拜まらずにはいられないですね。

広大無辺な宇宙の中、教えには初めに「元の理」といつて、生命創造がある。

10億円もらつても、自殺する人がいます。世界で、富や名声を得た著名な人が相次いで自殺することがあった。お金では幸せになれないのか、精神科医へのインタビューがありまして。その人が言うには、稼いでいる時、自分が上昇している時はいいが、功成した後、孤独になり、幸せを感じられなくなるらしい。自らの成功経験にはドーパミンという脳内物質が出て快感を得るが、このドーパミンはすぐに慣れ、飽きやすい。そこで達成した後には虚しさが残つて、幸せを感じられなくなる。スポーツ観戦など興奮する場面で分泌されるアドレナリンも同様、長続きはしない。長く続くのは、オキシトシンとよばれる物質で、これは幸せホルモンとか呼ばれるもので、人に親切にしたり、喜んでもらうという、他人とのふれあいで分泌されるものだそうです。もう一つにはセロトニン、これは日光に当たるほど分泌されるようです。幸せを日々感じるにはトレーニングが必要です。我々にとつての

### 爺の心持ち

梶川創一郎

喉元過ぎれば熱さを忘れるの諺がある。

去る8月7日、上級峰延の祭典の準備に出かけた。明け8日は大教会長様のお入り込みであり、神殿掃除より参拝場・廊下・客間と務め、午前中であらかたの準備が整った。

普段の月は7日が地区例会なので、昼食を頂いた後教会に戻り、例会の支度にかかるが、8月は11日が例会と決まっている。晴天のお恵みを頂き、今日はお盆前のお墓掃除日和、と教会に戻って神殿掃除を済ませて峰延の墓地へお墓

一番は、おつとめを勤めることですね。日頃の御守護に感謝し、他人の幸せを願う。これを毎日繰り返すだけで、少しずつ幸せに感じる心が出来ていくように思いますが」と述べられた。

祭典後には学生会・学担によるかき氷の模擬店も開き、季節ならではの涼味に、舌鼓を打つ人も多かった。

### 修養科への誘い

梶川靖子 新生生分教会

修養科での3か月間は私にとつて、とても貴重な経験となりました。

私は布教所の家庭で育ち、数年

掃除に出かけた。

ポリバケツ二つに水を汲み、大きなスポンジに洗剤を浸けて墓石を洗い上げる。雑巾で何度も拭き取る作業に夢中になっていると、アツと、足を滑らせてゴム草履の両足が天を仰いで、その奥に真っ青な空が見えた。

下は御影石の石畳、膝から落ちれば骨折は免れぬ。腰や背中から落ちても重症だろうし、また頭を墓石の角にでもぶつければ命の危険がある。一瞬の間に「明日の祭典に出られないのではないかと心配した。

落ちる瞬間に何かにフワッと背を抱えて受け止められる感覚がして、直後にバケツの水をかぶりながらバーンと落ちた。バケツは縦に割れ、粉々になった。

しばらく動けずに石畳の上で空を見上げていた。身体を撫でまわしてみたが、どこも痛いところがない。お尻も背中も腰も頭もなんともない。座り直して神様にお礼を申し上げた。助けて頂いたのだ。残ったバケツに水を汲み替えて、掃除を終えて教会へ帰った。

お守り頂いたあの時、どうなっているもおよそ骨折・入院は免れなかった。喉元を過ぎて熱さを忘れる事無く、お守り頂いた喜びから、あの時どうかなっていたらと考えると、何でもさせて頂こう、何でも出来る、と思っている。

初老の心身定まれり。



### 教会子ども会・おとまり会

#### 第47回 祝梅若人会夏季練成会

8月10日から11日の2日間、祝梅分教会において夏季少年練成会を少年会員11名、育成係15名、ひのきしん23名、総勢49名の参加の御守護を頂きつとめさせて頂いていただきました。

1日目は教会内で、声出しゲームや、お尻歩きリレー、などの「室内オリピック」を行い、夜は楽しみをしていた「きもだめし」を行いました。

2日目の「クラフト」では布やシールなどで飾り付けしたカレンダーを作り、その後、入浴しました。



その日の昼食では、バイキング形式の豪華な会食を頂き、午後からは会長さんからの「教話」や、「おてふり・鳴物練習」では男子や幼児はおてふり練習や男鳴物、女子は女鳴物の練習を行い、閉講いたしました。

今年は雨のおかげで室内行事となりましたが、お互いに寄り添った

### 青年会創立百周年総会に向けて 決意の布教合宿!

10月に迎える青年会百周年総会に向け、夕張分会では『家族おちばがえり』をスローガンに、一人でも多くの会員に総会に参加してもらえるよう、お誘いをしていくところであります。理作りの一環として、去る8月



29日から31日の3日間、祝豊分教会を拠点に、布教合宿を行った。

各会員、多忙多用な時期でもあり、参加者は計4名であったが、勇み心を持って南幌・北広島・江別・岩見沢の街でにをいがけした。参加者各人が思い思いに神名流しや戸別訪問、チラシ配りに勤しみ中にはおさづけのお取次ぎをさせて頂いた会員もいた。

大雨の降る日もあったが、身上もなく元気いっぱい、にをいがけにひのきしんと、充実した3日間を送ることが出来た。より一層の会員で布教に回り、仲間を声かけ記念総会に参加したいと思えます。

て過ごす時間が多くなり、初めて参加した方も仲良くなるのが早かったと感じます。

家族ぐるみでの参加や、新しい友達にも参加頂き、会員の皆さんが元気一杯で過ごさせて頂いていただいた1泊2日でした。

祝梅若人会委員長 伊藤伸幸

#### 幌都・長沼合同おとまり会

8月11、12日、幌都分教会を会場に開催し、幼児を含む少年会



員14名、育成会員15名が参加した。今回、幌都として二十数年ぶりに開催したおとまり会。小雨降る11日朝、幌都分教会に集合、育成会長による親神様教祖のお話や参拝などの説明がされた後、札幌で無料で遊べる屋内施設・札幌市水道記念館へ移動し、水の事を学べる遊具などで楽しんだ。昼食のおにぎりを食べて教会へ戻ってから、映画鑑賞、鳴り物練習、夕つとめ夕食後、花火をして入浴。参拝場では、協力して自作テントを建て

### 庶務部 8月

▽学生生徒修養会高校の部

カウンセラール

竹田 沙織(馬追) 8・9、15

▽支部長後継者講習会

藤田美由紀(札美) 8・29

◆ キャンプ秀囲気の中で、みんなの字になって就寝した。翌日はおつとめ後ラジオ体操をして、公園などゴミ拾いをしてから解散をした。

#### 長沼部内・幌都・札美子供会

8月18日開催、5隊26名(少年会員12名、育成会員14名)参加しました。流しそうめん、町内仮装盆踊りに出演し、入賞する子もいて、お祭りを楽しみました。



### 大教会日誌抄 8月

1日 千人鼓の会・練習(2日) 少年会夕張団参帰会

2日 たすけ推進会議

3日 会長、上富良野分、参拝

4日 ひきよせ編集

7日 国道見守り隊活動(8日) ひきよせ編集(8日)

8日 会長、峰延分、参拝

10日 会長、祝梅分、参拝

12日 会長夫妻、

14日 月次祭準備 月例会議 婦人会例会

15日 月次祭、少年会例会

16日 支部・組例会

18日 会長、栗山分、参拝

19日 第三回子ども食堂

21日 こかん様に続く会(19日) 婦人会・女鳴物勉強会

22日 会長、関東方面講社祭 (23日おちばへ)

24日 ひなの会・女鳴物勉強会

25日 会長、御本部神楽当番

26日 会長夫人、おちばへ

28日 御本部月次祭、遙拜式

30日 会長、帰会

31日 たすけ推進会議

会長夫人、帰会

北海道教区・委員長講習会

婦人会長 中山はるえ様

ご講話